

# 俗信と迷信

斯波 随覚

迷信…広く流布されているが科学的

根拠の全くない知識のこと。もしくは、それらを誤信することであり、中でも比較的歴史があるものがこう呼ばれる。

俗信…社会において広く流布され伝

承されてきた、物事の捉え方や考え方、また考えられた内容を言う。なぜ、そのような把握や

考えが妥当かということについては、「昔からそう言われている」というような歴史的な継承性や、社会的な流布性の事実を根拠にする。通俗信仰、通俗信念の略

## 迷信の例

風邪は人にうつすと治る

ウナギと梅干しは一緒に食べるな

夜、爪を切るな

酔を飲めば体が柔らかくなる

トンネル工事に女性は駄目

## 宗教儀式にまつわる迷信・俗信

### 俗信の例

食事の後すぐ横になると牛になる

畳のへりを踏むな

夜、口笛をふくな

ミミズに小便かけるな

火遊びするとおねしよをする

◎ことばの語呂合わせなどからでき

たもの

・四十九日が三月にまたがるとだめ

↓ 始終、苦が身に付く

・友引きに葬式はださない

↓ 友を引く

迷信と俗信の区別ははっきりしない

◎死を穢れと嫌うことからできたもの

・儀式の際の清め塩

・鳥居をくぐらない

・写真や額に半紙をかける

◎死者が帰ってこないようにという

思いからできたもの

・一本ばしをたてる

・火葬場への道中、振り返るな

・出棺のとき茶碗を割る、藁を燃やす、棺を回す。

◎その他

・北枕で寝てはだめだ

・一軒の家の仏壇に違う姓の故人を

祀ってはいけない